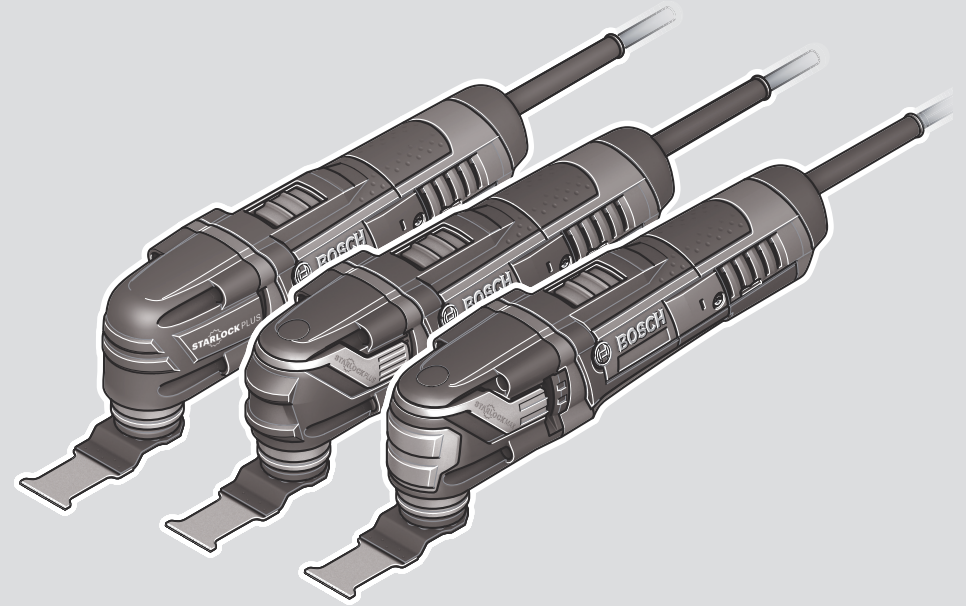




ボッシュ株式会社 電動工具事業部

ホームページ: <http://www.bosch.co.jp>

〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7

コールセンターフリーコール

0120-345-762

(土・日・祝日を除く、午前 9:00~午後 5:30)

* 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161
をご利用ください。コールセンターフリーコールのご利用
はできませんのでご了承ください。



1 600 A02 E8S

1 600 A02 E8S (2023.12)

GMF 30-28
GMF 40-30
GMF 50-36



BOSCH

取扱説明書

このたびは、弊社マルチツールをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
います。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みにになり、正しくお
使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。
わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がございましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。



目次

● 安全規則.....	2
警告表示の区分	2
一般的な電動工具の安全に関する警告	2
記号について	6
● 安全上のご注意.....	7
コード式電動工具全般についての注意事項	7
マルチツールについての注意事項	13
● 本製品について	15
用 途.....	15
各部の名称.....	15
標準付属品.....	17
仕 様.....	18
● 使い方	20
作業前の準備をする.....	20
作業する	25
別売品を使う.....	29
吸じんシステム (別売品) と接続する.....	31
● お手入れと保管.....	33
クリーニング.....	33
保 管.....	33
廃棄について	33
● 困ったときは.....	34
故障かな?と思ったら.....	34
修理を依頼するときは.....	35

安
全

つ本
製
い
品
てに

使
い
方

保 お
手 手
入 入
れ と
管

困
つ
た
と
き
は

安全規則

安

全

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は  危険、 警告、 注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。



◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。



◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

一般的な電動工具の安全に関する警告



警 告

電動工具とともに提供される全ての安全上の警告、指示、図解および仕様をお読みください。

次に示す全ての指示に従わない場合には、感電、火災および重傷を負う恐れがあります。

必要に応じて読むことができるように、全ての警告および指示を後日のために保管してください。

次に示す全ての警告における“電動工具”という用語は、電源式（コード付き）電動工具または、電池式（コードレス）電動工具を示す。

a) 一般的な電動工具の安全性に関する警告[作業場]

- 1) 作業場は整理整頓し、十分に明るくしてください。散らかった暗い場所で作業すると事故の原因となります。
- 2) 爆発を誘引することがある可燃性液体、ガスまたは粉じんがある場所では、電動工具を使用しないでください。電動工具から発生する火花は、粉じんまたは蒸気(ヒューム)を発火させることがあります。
- 3) 電動工具の使用中は、子供および第三者を近付けないでください。注意が散漫になって、操作に集中できなくなることがあります。

b) 一般的な電動工具の安全性に関する警告[電気的安全性]

- 1) 電動工具の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。また、電源プラグを改造しないでください。アダプタープラグを接地した電動工具と一緒に使用しないでください。改造していない電源プラグおよびそれに対応する電源コンセントを使用することで、感電のリスクは低減されます。
- 2) パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの接地されたものと、身体を接触させないでください。
身体が接地されたものと接触した場合、感電する恐れがあります。
- 3) 電動工具を雨または湿気のある状態にさらさないでください。電動工具に水が入ると、感電する恐れがあります。
- 4) コードを乱暴に扱わないでください。コードを引っ張って電動工具を引き寄せたり、または電源プラグを抜くためにコードを引っ張らないでください。コードを熱、油、鋭利な角または動いているものに接触させないでください。コードが損傷したり絡まったりすると、感電する恐れがあります。
- 5) 電動工具を戸外で用いる場合は、戸外の使用に適した延長コードを使用してください。戸外の使用に適したコードを使用することで、感電のリスクは低減されます。
- 6) 電動工具を湿った場所で用いることが避けられない場合、漏電遮断器(RCD)によって保護された電源を使用してください。漏電遮断器(RCD)を使用することで、感電のリスクは低減されます。

c) 一般的な電動工具の安全性に関する警告[人的安全性]

- 1) 電動工具の使用中は、油断をせず、現在、自分が何をしているかに注意してください。電動工具の使用中は、自らの動作に対する作業安全を常に考慮してください。疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる場合は、電動工具を使用しないでください。電動工具の使用中的一瞬の不注意で、深刻な人的傷害を引き起こす恐れがあります。
- 2) 安全保護具を使用してください。常に、保護めがねを装着してください。防じんマスク、滑り防止安全靴、ヘルメット、耳栓などの安全保護具を適切に用いることで、傷害事故を低減することができます。

- 3) 意図しない始動を避けるため、スイッチに指をかけて電動工具を運ばないでください。電源プラグを差し込む前に、スイッチが“切”の位置にあることを確認してください。スイッチに指をかけて電動工具を運んだり、スイッチが“入”の位置になった電動工具の電源プラグを差し込むと、意図せず始動し事故の原因となる恐れがあります。
- 4) 電動工具の電源を入れる前に、調整キーまたはレンチを外してください。電動工具の回転部分に調整キーまたはレンチを付けたままにしておくと、人的傷害を引き起こす恐れがあります。
- 5) 無理な姿勢で作業しないでください。常に適切な足場およびバランスを維持してください。これによって、予期しない状況でも電動工具を適切に操作することができます。
- 6) だぶだぶの(余裕のある)衣服または装飾品は身に付けず、きちんとした服装で作業してください。髪、服および手袋を回転部分に近付けないでください。だぶだぶ(余裕のある)の衣類、装飾品または長髪で作業をすると、回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- 7) 集じん装置が接続できるものは、適切に使用してください。これらの装置を使用することによって、粉じん関連の危険を低減することができます。
- 8) 電動工具を使い慣れていても、安全性に注意して作業してください。不注意な行動は、重大な傷害を引き起こす恐れがあります。

d) 一般的な電動工具の安全性に関する警告[電動工具の使用および手入れ]

- 1) 電動工具に過剰な負荷を加えて使用しないでください。用途に合った正しい電動工具を使用してください。適切に電動工具を使用することによって、より効率よく、安全に作業することができます。
- 2) スwitchで始動および停止ができなくなった電動工具は、使用せず修理してください。スイッチで制御できない電動工具を使用すると事故の原因となる恐れがあります。
- 3) 調整を行ったり、附属品を交換したり、または電動工具を保管したりする前に、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。バッテリーを使用するものは、電動工具からバッテリーを取り外してください。そうすることによって、電動工具を誤って始動させるリスクを軽減することができます。
- 4) 使用しない電動工具は、子供の手の届かないところに保管し、電動工具またはその指示に不慣れな者には電動工具を使用させないでください。電動工具を扱い慣れていない者が使用すると事故の恐れがあります。
- 5) 電動工具および附属品を適切に保守してください。電動工具の動作に影響する恐れのある可動部分の芯ずれまたは結合、部品の破損およびその他の状態を点検し、異常がある場合は、使用する前に電動工具の修理を行ってください。電動工具の保守が十分でないことが、多くの事故の原因となっています。
- 6) 先端工具は、鋭利、かつ、清潔に保ってください。先端工具を適切に手入れして鋭利に保つことで、作業の円滑さを失うことなく、操作も容易になります。

- 7) 電動工具、附属品、アタッチメント、先端工具などは、作業条件および実施する作業を考慮して、取扱説明書に従って、特定の電動工具に合うように使用してください。意図された作業と異なる作業に電動工具を用いる場合、危険な状況になる恐れがあります。
- 8) ハンドルおよび保持面に、オイルまたはグリースを付着させず、きれいな状態で乾燥させておいてください。ハンドルまたは保持面が滑ると、電動工具の安全な取り扱いまたは制御を妨げる恐れがあります。

e) 一般的な電動工具の安全性に関する警告[修理]

電動工具は、資格を有する修理要員に純正交換部品だけを用いて修理するよう依頼してください。

これによって、電動工具の安全性を維持することができます。

記号について

警告銘板、電動工具、取扱説明書には下記の記号が表示されています。

記号の意味を十分理解して電動工具を使用してください。

記号の正しい解釈は、商品をより安全な方法で使用するために役立ちます。

	注意してください
	けがのリスクを軽減するために取扱説明書をお読みください
	ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください
	ビニール袋は窒息の危険があります この袋は赤ちゃんや子どもから遠ざけてください
	リサイクル識別表示マーク (紙製容器包装)
	リサイクル識別表示マーク (プラスチック製容器包装)
～	交流
	クラスⅡ電動工具
	電気用品安全法における特定以外の電気用品の基準適合表示

安全上のご注意

- ◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

コード式電動工具全般についての注意事項

ここでは、コード式電動工具全般の『安全上のご注意』について説明します。

警 告

- 作業に合った電動工具を使用してください。
 - ◆ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
 - ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。
- この取扱説明書、およびボッシュカタログに記載されているアクセサリ以外は使用しないでください。
 - ◆ 指定されたアクセサリ以外は、取り付けられたとしても安全に作業できない恐れがあります。
- 必ず、銘板に表示してある電圧の電源で使用してください。
 - ◆ 表示以外の電圧で使用すると、事故の原因になります。
- やむを得ず、湿気の多い場所で使用する場合は、漏電遮断器(RCD)を設置して給電してください。
 - ◆ 漏電遮断器の設置で、感電する危険が低減されます。
- 延長コードは、アース線を備えた3芯コードを使用してください。(二重絶縁品、低電圧品は除く)
- 必ずアース(接地)してください。(二重絶縁品、低電圧品は除く)

- アース線をガス管に接続しないでください。(二重絶縁品、低電圧品は除く)
- 屋外使用に合った延長コードを使用してください。また、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
 - ◆ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
- 感電に注意してください。
 - ◆ めれた手で電源プラグに触れないでください。
- 加工するものをしっかりと固定してください。
 - ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- 異常や故障時には、直ちに使用を中止し、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜いてお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに、点検、修理を依頼してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

<異常・故障例>

 - ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
 - ・電源コードに深いキズや変形がある。
 - ・コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
 - ・焦げくさい臭いがする。
 - ・ビリビリと電気を感じる。
 - ・スイッチを入れても動かない。 など
- 作業領域に電線管や水道管、ガス管などが埋設されていないか、適切な探知器で十分確認するか、公益事業者へ連絡をして、助言を求めてください。
 - ◆ 埋設物があると、先端工具が触れたとき事故の原因になります。電気配線との接触は、発火や感電につながる恐れがあります。ガス配管の損傷は、爆発につながる恐れがあります。水配管の貫通は、器物破損の原因になります。

- 鉛コーティングしてある作業材料やある種の木材、鉱物や金属への作業から出るホコリやクズなどによっては、健康に悪影響を与えたり、アレルギー反応を引き起こしたりするものがあり、呼吸器の感染症やガンなどの原因となる可能性があります。
 - ◆ アスベストを含む材料への作業は、専門知識のある方にのみ許されています。
 - －できる限り、材料に合った集じん装置を使用してください。
 - －作業場所の換気に注意してください。
 - －DS2クラス以上のフィルター付防じんマスクの着用をお勧めします。
 - 作業を行う材料に関して、自国の関連規則を遵守してください。
- 先端工具が埋設された配線などに接触する恐れがある場合、電動工具の絶縁された握り部を持って作業を行ってください。
 - ◆ 絶縁部分を持っていないと、先端工具が通電している配線に接触して、電動工具の金属部に通電した場合、作業者が感電する恐れがあります。絶縁部分で保持していると、感電する危険が小さくなります。
- きちんとした服装で作業してください。
 - ◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ◆ 電動工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ◆ 常識を働かせてください。
 - ◆ 疲れている場合は、使用しないでください。
- 作業中は電源コードが損傷したりもつれたりしないよう注意し、常に電動工具の後方に離してご使用ください。
 - ◆ コードが損傷したりもつれたりすると、感電や故障の原因になります。
- 作業中に電動工具の調子が悪くなったり、異常音がしたりしたときは、直ちにスイッチを切ってください。使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。
 - ◆ そのまま使用していると、事故の原因になります。

- 無理して使用しないでください。
 - ◆ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
 - ◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
- 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・使用しない場合。
 - ・刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - ・その他危険が予想される場合。
- 誤って落としたり、ぶつけたりしたときは、電動工具や先端工具、付属品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。
- 作業場で粉じんの堆積は避けてください。
 - ◆ 容易に発火する恐れがあります。
- 定期的に電動工具の通気口を清掃してください。
 - ◆ 通気口にほこりなどが蓄積されると、故障や事故の原因になります。
- 握り部は乾燥させ、油やグリースが付着していない状態を保ってください。
 - ◆ 握り部が滑りやすいと、電動工具を確実にコントロールすることができず、けがや事故の原因になります。
- アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用しないでください。
 - ◆ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発生させる物質です。
 - ◆ アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用した電動工具の保守・点検・修理は受け付けできません。
- 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- 電動工具を火のそばや、高温の場所に置かないでください。
 - ◆ 爆発の恐れがあります。

●注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。

●損傷した部品がないか点検してください。

- ◆ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ◆ 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての個所に異常がないか確認してください。
- ◆ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。

●使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ◆ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。

●安全上のご注意は、必ず守ってください。

- ◆ 電動工具の取り扱いに慣れると、安全の注意事項厳守を怠りがちです。電動工具操作中に、一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。

●電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理は、必ずお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお申し付けください。
- ◆ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

●この電動工具は、安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人(子供を含む)が単独で使用しないでください。

- ◆ この電動工具で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。



注 意

安

全

● 防音保護具を着用してください。

- ◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い(イヤマフ)などの防音保護具を着用してください。

● 先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。

- ◆ 確実にしないと外れたりし、けがの原因になります。

● 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。

- ◆ 材料や電動工具などを落としたときなど、事故の原因になります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

マルチツールについての注意事項

コード式電動工具全般の『安全上のご注意』について、前項では説明しました。
ここでは、マルチツールをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項について説明します。



警 告

安
全

● 乾式でのみ使用してください。

◆ 電動工具に水が浸入すると、感電の危険があります。

● 金属を研磨すると、火花が飛ぶ恐れがあります。引火または爆発の危険性がある場所では、絶対に使用しないでください。また、人を近づけないように注意してください。

◆ 火災や事故の原因になります。

● 金属を研磨するときは、吸じん機能を使用しないでください。

◆ 火災の原因になります。

● 溶剤を含む液体で表面を処理しないでください。

◆ こすることによって暖められ、有害な蒸気が発生する恐れがあります。

● 電動工具の電源を“入”にするときは、電動工具の回転部が身体に接触していないことを確認してください。

◆ 接触したまま電源を“入”にすると、けがの原因になります。

● 作業中に振り回されないよう、電動工具を確実に保持してください。

◆ 確実に保持しないと、けがの原因になります。

● 作業中は、先端工具や切り粉などの排出部に、手や顔などを近づけないでください。

◆ けがの原因になります。

● 湿った材料(湿った壁紙など)、または湿った表面をこすらないでください。

◆ 電動工具に水が入ると、感電の恐れがあります。

- 電動工具内に、液体が浸入するような作業は避けてください。
 - ◆ 感電や故障の原因になります。
- スクレーパーを使用するときは、細心の注意を払ってください。
 - ◆ スクレーパーの先端は非常に鋭く、けがの原因になります。
- 長時間使用するときは、火災に注意してください。
また、研磨材や電動工具が過熱しないように注意してください。
特に、ニスやポリウレタンなどの化学物質が混ざったり、長時間の作業で粉じんが熱かったりするときは注意してください。



注 意

- 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
 - ◆ けがの原因になります。
- 作業直後の先端工具や切り粉などは、高温になっていますので触れないでください。
 - ◆ やけどの原因になります。
- 必ず電動工具を作動させてから、加工材料にあててください。
- 電動工具を作動させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - ◆ 事故の原因になります。

本製品について

用 途

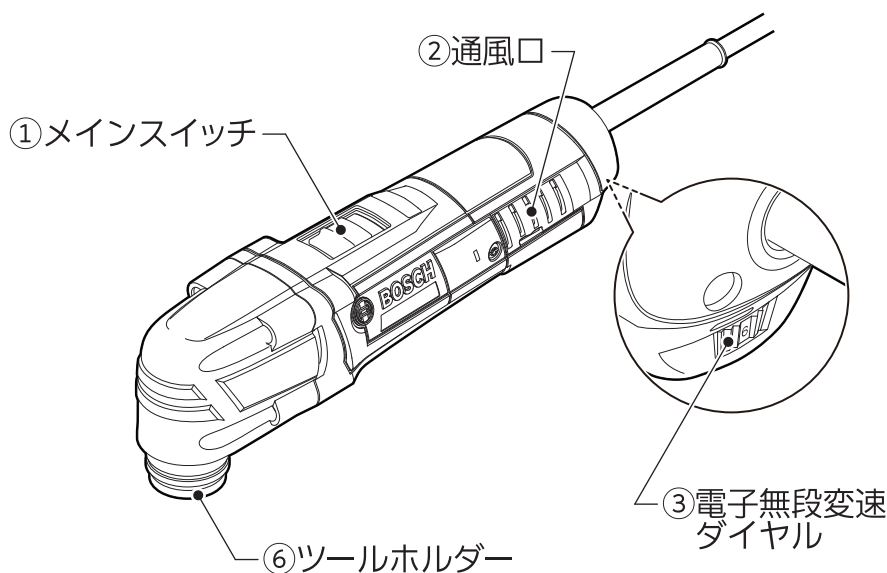
- ◆ 木材、プラスチック、石膏ボード、非鉄金属などの切断
- ◆ 木材、プラスチック、非鉄金属などの研磨
- ◆ 壁、床などの付着物や汚れの除去

☞ ライト⑤の灯りは、作業を行う個所を照らすもので、家庭用の部屋の照明には適しません。

つ本
製
い
品
てに

各部の名称

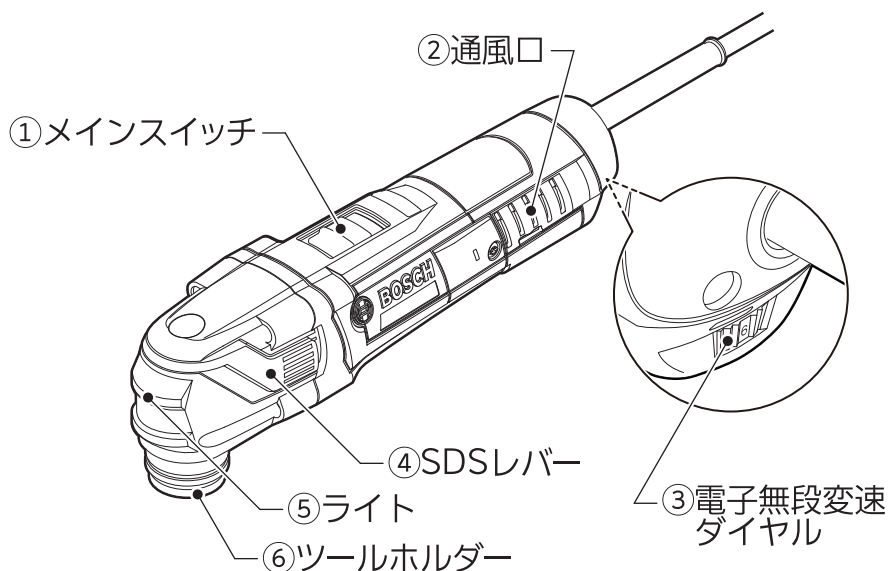
GMF 30-28



◆ イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

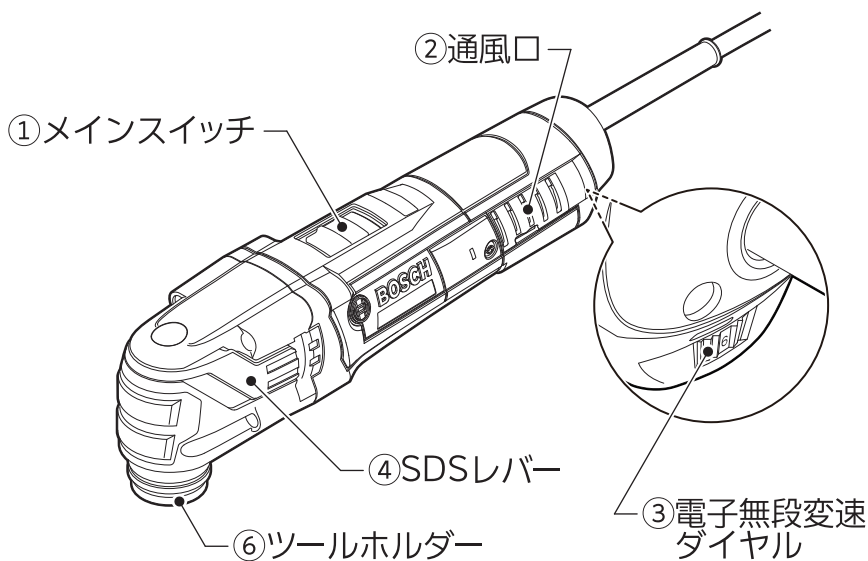
GMF 40-30 GMF 40-30L

本製品に
ついて



◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

GMF 50-36



◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

標準付属品

モデル名	GMF 30-28	GMF 40-30		GMF 50-36
型 番	GMF 30-28	GMF 40-30	GMF 40-30L	GMF 50-36
木工用ブレード	1個	1個	1個	1個
サンディングペーパーセット	5枚	5枚	5枚	5枚
ラバーパット	1個	1個	1個	1個
キャリングケース (L-BOXX 136)	—	—	1個	1個

つ本
製
品
に

仕 様

モデル名	GMF 30-28	GMF 40-30
型 番	GMF 30-28	GMF 40-30
定格電圧	A.C.100V、50-60Hz	
消費電力(入力)	300W	400W
振り子振動数	8,000～20,000回/分	
振り子振動角度	2.8°(2×1.4°)	3.0°(2×1.5°)
質 量*1	1.5kg	
本体クラス	スターロックプラス	
取り付け可能ブレードタイプ		
STARLOCK 	○	
STARLOCK PLUS 	○	
STARLOCK MAX 	×	
振動3軸合成値*2		
剥 離	4.5m/s ²	6.0m/s ²
切 断	10.0m/s ²	11.0m/s ²
研 磨	2.0m/s ²	3.0m/s ²
感電保護クラス	回/Ⅱ	
原産国	マレーシア	ハンガリー
パッケージ	カートンボックス	

*1 EPTAプロシージャー01/2014に準拠

*2 EN62841-2-4規格に基づき測定

つ本
い製
品
てに

モデル名	GMF 40-30	GMF 50-36
型 番	GMF 40-30L	GMF 50-36
定格電圧	A.C.100V、50-60Hz	
消費電力(入力)	400W	500W
振り子振動数	8,000~20,000回/分	
振り子振動角度	3.0°(2×1.5°)	3.6°(2×1.8°)
質 量*1	1.5kg	1.6kg
本体クラス	スターロックプラス	スターロックマックス
取り付け可能ブレードタイプ      	○ ○ ×	○ ○ ○
振動3軸合成値*2 剥 離 切 断 研 磨	6.0m/s ² 11.0m/s ² 3.0m/s ²	6.5m/s ² 10.5m/s ² 3.5m/s ²
感電保護クラス	回/Ⅱ	
原産国	ハンガリー	
パッケージ	L-BOXX 136	

*1 EPTAプロシージャー01/2014に準拠

*2 EN62841-2-4規格に基づき測定

使い方

作業前の準備をする



警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、作業前の準備をするときは、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ◆ 電源コードや電源プラグが損傷しているときは、直ちに使用を中止してください。お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。



使用電源を点検する

- 単相A.C.100V、50-60Hzか？
- 電源コンセント不良(ガタ)のため、電源プラグが簡単に抜けないか？
- 電源コードが断線したり、電源プラグが破損したりしていないか？

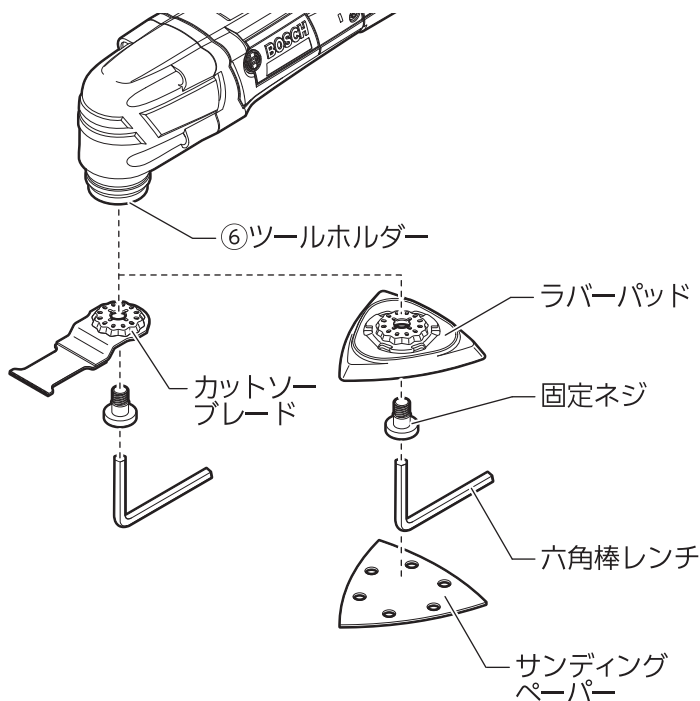


先端工具を取り付ける・取り外す



注意

- ◆ 先端工具を取り付けたり取り外したりするときは、手など身体を傷つけないように十分注意してください。
- ◆ けがの発生を防ぐため、保護手袋を着用してください。



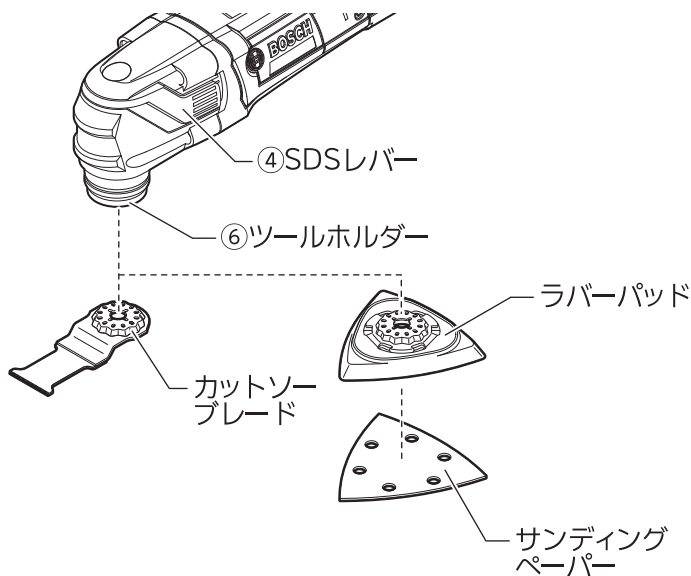
取り付け

1. 固定ネジを六角棒レンチで回して緩め、取り外します。
2. ツールホルダー⑥の凸に、先端工具の穴を合わせて差し込みます。
 先端工具の表裏をまちがえないよう、注意してください。
 (上記イラスト参照)
3. 作業に合わせて、先端工具の先端を任意の向きにします。
 先端工具の向きは、30度ずつ12段階にセッティングすることができます。
4. 固定ネジをツールホルダー⑥に差し込み、六角棒レンチで回して締めます。
5. 研磨用先端工具のときは、ラバーパッドの穴とサンディングペーパー (マジック式) の吸じん穴が合うようにして、ラバーパッドにサンディングペーパーを軽く押し付けて装着します。
 サンディングペーパーを装着するときは、ラバーパッドに付着したゴミなどを取り除いてください。

 アクセサリーはボッシュ純正品をご使用ください。

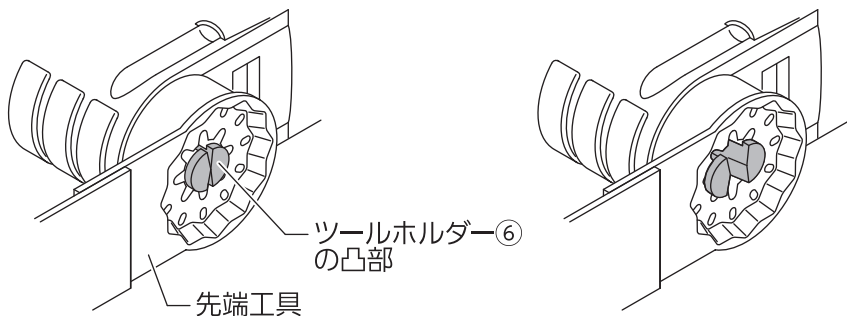
取り外し

1. 研磨用先端工具のときは、サンディングペーパーの端を持ち上げ、引きはがします。
2. 固定ネジを六角棒レンチで回して緩め、取り外します。
3. 先端工具を取り外します。
4. 固定ネジを取り付けます。



取り付け

1. 先端工具を取り付けたい向きにし、ツールホルダー⑥の凸部に先端工具の穴を合わせて押し込みます。
ツールホルダー⑥の凸部が開いて、先端工具が固定されます。



先端工具の向きは、30度ずつ12段階にセットすることができます。

- ☞ 先端工具の表裏をまちがえないよう、注意してください。
(上記イラスト参照)

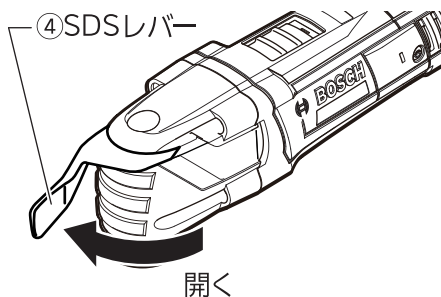
2. 研磨用先端工具のときは、ラバーパッドの穴とサンディングペーパー(マジック式)の吸じん穴が合うようにして、ラバーパッドにサンディングペーパーを軽く押し付けて装着します。
サンディングペーパーを装着するときは、ラバーパッドに付着したゴミなどを取り除いてください。

☞ 先端工具はボッシュ純正品をご使用ください。

取り外し

1. 研磨用先端工具のときは、サンディングペーパーの端を持ち上げ、引きはがします。
2. SDSレバー④を本体前方に引き出します。
先端工具が外れます。

☞ 作業直後の先端工具は熱い場合がありますので、取り外す際には注意してください。



3. 先端工具が外れたら、SDSレバー④から手を離します。



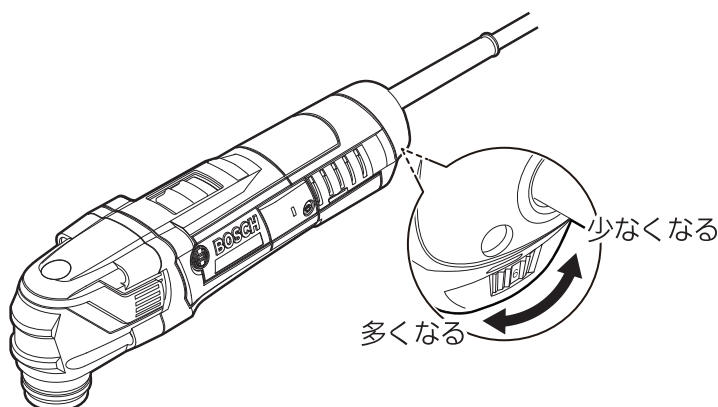
警告

- ◆ 使用中は本体を両手で確実に保持してください。
- ◆ 電源コードを傷つけないように注意し、常に本体の後方に離してご使用ください。

① 電子無段変速ダイヤル③で振動数を調節する

材料や作業に応じて、振動数を調節してください。ダイヤルを数字の大きい方へ回すと振動数が多くなり、数字が小さい方へ回すと少なくなります。

- 🔧 試し作業などをし、最適な速度を設定してください。
- 🔧 電子無段変速ダイヤル③は、作業中でも変更できます。



使
い
方

② 電源プラグを電源コンセントに差し込む

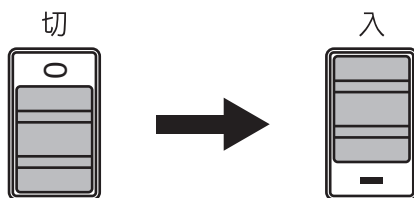


警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、メインスイッチ①が“切”になっていることを確認し、メインスイッチ①に指を掛けないように注意してください。

3 メインスイッチ①を“入”にする

メインスイッチ①を前方へスライドさせる。



☞ GMF 40-30/GMF 40-30Lは、メインスイッチ①を“入”にするとライト⑤が点灯します。

使
い
方



注意

- ◆ ライト⑤点灯中に、ライトを直接のぞき込まないでください。一時的に視力に影響を及ぼす場合があります。

4 作業する



警告

- ◆ 作業するときは、本体の先端部に手や顔を近づけないでください。



注意

- ◆ モーターがロックする、または本体が停止するような負荷を、本体に与えないでください。

駆動により、先端工具は最大20,000回/分振動します。



弱い、均一な圧力を与えながら作業を行ってください。
そうしないと、作業能力が低下し、先端工具が引っかかる恐れがあります。



作業中、先端工具が過度に熱を持ったり、引っかかりたりしないよう、本体を前後に動かしてください。

切断作業

先端工具を材料に当て、先端工具の動きが鈍くならない程度に、本体を前に進めます。

- ☞ 無理に力を入れたり、無理に前に進めようとしても、早くは切れません。
- ☞ 傷んでいない良好な状態のブレードのみを使用してください。折れ曲がったり、刃先が傷んだりしたブレードは、破損、不良切断、並びに跳ね返りにつながります。
- ☞ ポケット切断は柔らかい木材や石こうボードなどの材料のみに可能です。
- ☞ 木材用ブレードを使用するときは、作業前に木材、合板、建築材料などの中に釘・ネジのような異物が入っていないことを確認してください。
異物が入っている場合は、異物を取り除くかブレードを木材・金属用ブレードに替えてご使用ください。

研磨作業



注意

- ◆ 金属の研磨に使用したサンディングペーパーは、他の材料には使用しないでください。
- ◆ 摩耗したり、目減りしたサンディングペーパーは使用しないでください。

使
い
方

サンディングペーパー全体を加工面に当て、適度な圧力で動かしてください。

- ☞ 不要な材料で振動数を確認してから作業を行うことをお勧めします。
- ☞ 加工面が一様に研磨されるまでは同じ粒度のサンディングペーパーを使用してください。途中で粒度の異なるサンディングペーパーに取り替えるときれいに仕上がらない場合があります。
- ☞ ボッシュ純正のサンディングペーパーを使用してください。
- ☞ サンディングペーパーの種類、事前の振動数設定、ならびに与える圧力で、削り代とサンダーがけのパターンがあらかじめ決まってきます。
- ☞ 傷んでいないサンディングペーパーでのみ良好なサンダーがけができ、本体の寿命を延ばします。
- ☞ 必要以上に強く押し付けても、研磨効率は上がりません。逆に、本体やサンディングペーパーを消耗させることになります。
- ☞ コーナー部分、角や手が届きにくい小さな個所の研磨は、ラバーパッド⑬の先端部分で行うことができます。
- ☞ 特定の個所を集中的にサンダーがけする場合、サンディングペーパーがある程度熱くなります。振動数と押し付ける圧力を弱めて、サンディングペーパーが定期的に冷却できるようにしてください。
- ☞ 粉じんの拡散を減らし、より良い作業結果を得るために、できる限り吸じんシステムを使用してください。

剥離作業

平らな場所で柔らかい表面（例えば、木材）に対して、軽く圧力を加えてください。

☞ 剥離には高い振動数を選んでください。

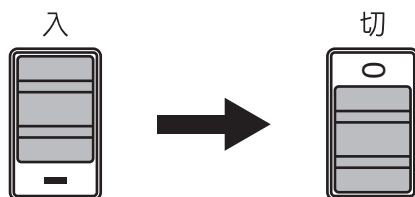
☞ 圧力が強過ぎると、スクレーパーが表面に食い込んでしまう恐れがあります。

タイルはがし作業

☞ 壁のタイルを取り外すとき、先端工具を長時間使用するとタイルが激しく傷みますので、ご注意ください。

5 メインスイッチ①を“切”にする

メインスイッチ①を後方へスライドさせる。



◆ 作業後は、必ずメインスイッチ②を“切”にした後、本体を材料から離してください。

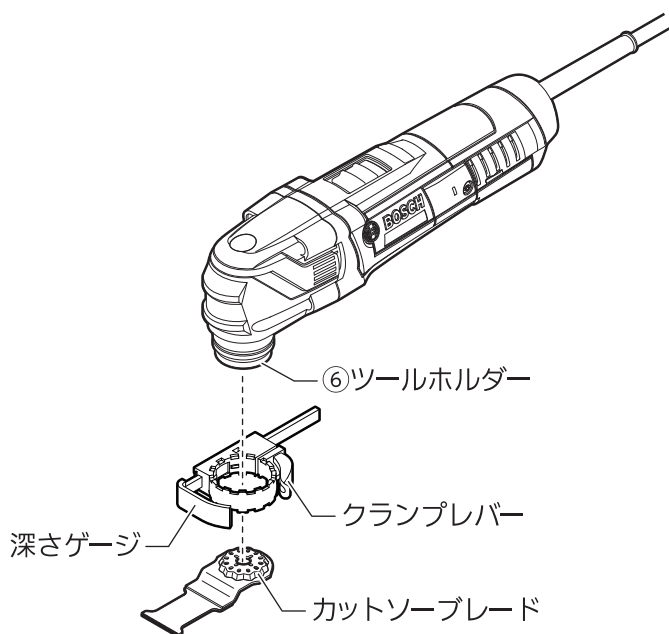
● 深さゲージを取り付ける・取り外す

GMF 40-30/GMF 40-30L/GMF 50-36のみ



- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、深さゲージを取り付けたり取り外したりするときは、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

深さゲージを取り付けると、カットソーブレードを使用して切り込みを入れるときなど、繰り返し同じ深さに切り込むことができます。



使
い
方

取り付け

1. 先端工具などが取り付けられているときは取り外します。
2. ツールホルダー⑥に、深さゲージを差し込みます。
3. 作業に合わせて、深さゲージを任意の向きにします。
4. 先端工具を取り付けます。
(20ページ「先端工具を取り付ける・取り外す」参照)
先端工具を取り付けると、深さゲージが固定されます。

5. クランプレバーを開きます。
6. 深さゲージを切り込み深さに合わせます。
7. クランプレバーを閉じます。
深さゲージが固定されます。

取り外し

1. 先端工具を取り外します。
2. 深さゲージを取り外します。

吸じんシステム(別売品)と接続する

木材を研磨する際には、ボッシュマルチクリーナー(別売品)・マルチ集じん機(別売品)との接続による吸じんシステムをお勧めします。

作業時に発生する粉じんが大幅に低減しますので、クリーンな作業が可能となります。また、作業後の作業場の清掃、本体のメンテナンス作業も軽減されます。

各種ボッシュマルチクリーナー(別売品)・マルチ集じん機(別売品)と接続する場合は、『ボッシュ電動工具 プロ用製品カタログ』の「吸じんシステム」のページを参照いただくか、弊社コールセンターフリーコールまでお問い合わせください。

ボッシュマルチクリーナー(別売品)・マルチ集じん機(別売品)には、当機種との接続に適合するものと、適合しないものがあります。

また、アダプター(別売品)などが必要な場合があります。

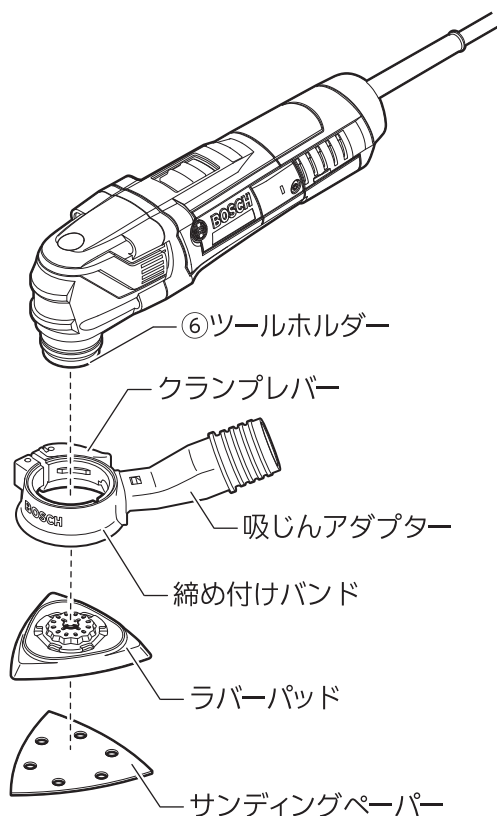
(フリーコールの番号は、本取扱説明書の裏表紙に記載されています。)



注意

- ◆ 研磨すると火花が出る可能性のある場合は接続しないでください。
- ◆ 人体に有害な粉じんが発生する材料は吸じんしないでください。
- ◆ 吸じんアダプターに吸じん袋を接続しないでください。

使
い
方



1. 深さゲージなどが取り付けられているときは取り外します。
2. クランプレバーを開いて、締め付けバンドを緩めます。
3. ツールホルダー⑥に、吸じんアダプターを差し込みます。
4. 吸じんアダプターを任意の向きにします。
5. クランプレバーを閉じて、吸じんアダプターを固定します。
6. 吸じんアダプターにホース(システム)アダプターを接続します。
7. ホース(システム)アダプターに吸じん専用ホースを接続します。
8. 吸じん専用ホースとボッシュマルチクリーナーを接続します。
ホース(システム)アダプターはマルチクリーナーにより異なります。詳しくはボッシュカタログまたはマルチクリーナーの取扱説明書を参照してください。

お手入れと保管



- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて、お手入れしてください。

クリーニング

- ツールホルダーや通風口などに付いたゴミ、ホコリを吹き飛ばす

- 乾いた、柔らかい布で本体の汚れをふき取る

 変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。

保管

- 使った後は、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。特に、50℃以上になるところに置かない。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。

保
お
手
入
れ
と
管

廃棄について

本体および付属品の廃棄については、各地域自治体にその方法を確認し、正しく廃棄してください。

困ったときは

故障かな?と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめてください。
- ② 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめてください。

症 状	原 因	対 処
メインスイッチ①を“入”にしても動かない	電源プラグが電源コンセントから抜けている	電源プラグを電源コンセントに差し込む
ブレードの切れ味が悪くなった	ブレードが摩耗している	ブレードを交換する
研磨できない	サンディングペーパーが摩耗している	サンディングペーパーを交換する

修理を依頼するときは

- ◆ 『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーコールまでお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合(消耗部品を除きます)が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。
弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーコール 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00～午後5:30

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL.03-5485-6161をご利用ください。
コールセンターフリーコールのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ <http://www.bosch.co.jp>

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒355-0813 埼玉県比企郡滑川町月輪1464番地4

TEL 0493-56-5030 FAX 0493-56-5032

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野741-1

TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407

プロ用電動工具・メジャーリングツール 保証サービス『PRO360』のご案内

2022年10月より、弊社ホームページからユーザー登録をしていただいたお客様を対象に、購入日より2年間の保証サービスを実施させていただきます。

保証サービスの詳細および登録に関しては、弊社ホームページまたは下記URLでご確認ください。

<https://www.bosch-professional.jp/jp/ja/service/>